

【平成27年度 学校関係者外部評価委員からの提言等】

鹿児島県立開陽高等学校

1 学校関係者評価委員会並びに学校活性化対策委員会

(平成26年度から、全日制・定時制・通信制の三課程合同で開催)

(1) 第1回 : 平成27年7月9日(木) 15:10~16:40

参加者: 外部評価委員7名, 校長, 総括教頭, 全日制・定時制・通信制の各教頭, 事務長
全日制・定時制・通信制の各4部主任(教務・生徒指導・進路指導・保健)

(2) 第2回 : 平成28年2月23日(火) 13:30~15:00

参加者: 外部評価委員5名, 校長, 総括教頭, 全日制・定時制・通信制の各教頭, 事務長
全日制・定時制・通信制の各4部主任(教務・生徒指導・進路指導・保健)

2 外部評価委員からの提言

(1) 単位制高校として、三課程がそれぞれに一生懸命取り組んで成果を上げており、生徒も単位制の意義を理解して学校生活に満足していることがわかった。ほとんどの生徒は責任感を持って真面目に学校生活を送っている。以前のイメージが残っていて、厳しい見方をする地域の人もあるが、開陽高校の良いところをもっとPRしていくことで、多くの生徒が「開陽に来て良かった」と誇りを持って卒業できる学校になると思う。

(2) 各種大会での受賞も多く生徒が活躍していることがわかったが、受賞を知らせる横断幕を学校周辺に掲示するだけでなく、書道や美術の作品を展示するなど、生徒の活動の成果を学校周辺の人たちにも見てもらえるような工夫はできないか。もっとアピールの仕方を工夫して欲しい。新聞社への取材依頼も含めて、積極的な情報発信を今後も続けて欲しい。

(3) 中学校の先生に開陽高校のことを知ってもらわなければ、中学生が高校を選ぶ際の選択肢に入っていない。また、定時制や通信制の仕組みや内容をわかっていない中学生の保護者も多いので、もっと理解してもらえるよう説明を工夫して欲しい。

(4) 不登校の中学生やその保護者は中学校と連絡が取りにくくなっていることも多く、進路に関する情報を得ることが難しい状況にある。保護者の中には子どもの不登校を隠したがる人もいるが、中学時に不登校であった生徒が開陽高校で頑張っていることを、粘り強くPRし続けることが大切である。

(5) 授業公開(8月, 11月)に参加した人は、開陽高校に対する印象が大きく変わる。学校を知ってもらえる良い機会なので、保護者や中学校、地域などへ積極的なPRをして欲しい。

(6) 生徒の地域行事への参加を増やすなど、生徒に自信を持たせることが必要だと思う。ボランティアに参加する生徒が多いようなので、今後も継続して欲しい。

(7) ホームページの内容は改善されているが、もっと学校の様子を発信して欲しい。また、生徒たちがよく使用するスマートフォンにも対応できるようにすることも検討して欲しい。